

令和4年度 松田町地域座談会<城山地区>意見交換の要旨

日 時：令和4年7月3日(日) 午後2時00分から4時00分

場 所：城山地域集会施設

出席者：城山自治会 12名

町 長：本山町長、高橋参事兼まちづくり課長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、
政策推進課（鍵和田、渡邊）

意見交換の記録（●…意見、⇒…回答） ★は町からの提案、方針

●最明寺から高松山へ向かう道で途中崩れた箇所がありケガした人がいた。危険なため町の観光経済課に苦情を申し入れたが、返事は3ヶ月後でどうすればよいかと逆に質問された。通行止めにしたり迂回路を示すなど対応すべき。

⇒（町長）

確認する。

●健康づくり普及員を各地区1名出すことになっているがなり手がいない。仕方なく引き受けたが果たして26地区から出す必要はあるのか。地区によっては自治会長が兼任するなどしている。

⇒（町長）

健康づくり普及員の問題というより「なり手不足」が課題。自治会長や他の委員についても同様の課題である。

●先ほどの山へ向かう道の件、コヤワタオフィスとの協定を活かしてドローンを飛ばして確認してはどうか。どのような協定になっているのか。

⇒（町長）

ドローンを幅広い分野で活用し地域の活性化につながることを目的としており、農業や防災時の災害状況の確認や救助などに活用するほか、子ども向けに操縦教室を開催するなどしている。

●自治会長のなり手不足は全国的な問題。自治会の区分けは何十年も変わっていない。時代は変化しておりそろそろ区分け自体をもっと大きくするなど見直すべきではないか。

⇒（町長）

区分けについてはここ何年もの懸案事項。自治会にはそれぞれ歴史がある。自治会のことに対して行政は基本的に立ち入らないスタンスであり、自治会側から困っていることがあれば助ける。自治会によっては複数地区合同のイベントを行っているところもあるが、例えば寄地区の一番小さな自治会を他と合体できるかというとなかなか難しい。存続が難しいなど困っているのであれば町から提案することもできるが、基本は各自治会の受け止め方による。

- ちいさな自治会同士が一緒になれば楽なることもあると思う。自治会側からも行政側からも双方の働きかけで何年もかかるだろうが変えていくべき。

⇒（町長）

今後への期待を込めたプラスの提案として受け止めたい。居住者は多くてもなり手がいない地区もある。自治会の役目を容認できるかも地区による。行事のやり方も、例えばどんど焼きは1月14日だが土日にくずらして行う地区もある。

- 私の夢だが、河川敷のどこかに「道の駅」のような施設がほしい。つりやパラグライダーなどで松田町を訪れる人も増えているが女性は特にトイレの問題が大事。きちんとした施設でそこが情報の発信基地になればよい。

⇒（町長）

松田町と山北町で堤防の道路の整備を進めている。整備が進み車や人が増えれば当然トイレ等の施設も必要になってくる。

⇒（高橋参事）

上流の方、現在車止めがあるところから先は歩行者と自転車の専用道だが、山北高校のあたりは復員4～5メートル程度を想定している。直線のため車の速度を抑止するため橋のところでは幅員をとらず譲り合うようにする。建物についても検討していく。

- 駅前トイレについて、月に1回掃除を行っているが、水道が1箇所しかなく使いにくい。外にも水道を設けて欲しい。お休み処は飲食禁止だが中には食事をする人もいる。ここ半年掃除をしているのでだんだんと綺麗になってきた。きれいな施設を維持していくために掃除は重要。そのためにも水道設置をお願いしたい。（要望）

- ごみの問題について。自治会加入者にはごみの捨て方なども周知されているが、集合住宅では4月の転居時期にごみの捨て方が乱れる。転入者などには町からも周知しているのか。

⇒（町長）

住民票を異動される方は町役場で手続きをされる時にガイドブックと一緒にごみの捨て方についても案内している。集合住宅の場合、敷地内に集積場がある所も近隣の集積場に出す所もあるが、そこまで周知しているかは確認する。また、自治会未加入者の中にはルールを守らない方もいる。最近ではウィークリーやマンスリーの賃貸などもあり、町から働きかけをしても残念ながら受け入れてもらえない場合もある。そうした人には町として徹底して対応するので、なにかあれば町に連絡していただきたい。

- シニアクラブで映画上映担当をしている者としての要望。町のホールで子ども向けの映画上映があった。かなり多くの方が参加したようだが今後も継続して行うのか。

⇒（町長）

町としては、生涯学習のイベントとしてカラオケ大会と映画上映を毎月交互に行う予定をして

いる。次回は7月30日に開催する。上映内容についても広く町民から募集してもよいと思う。また、家庭のホームシアターを仲間と一緒に楽しむ場としてホールの貸出をするなども行っていきたい。

- ごみの問題について、ごみ捨てるルールを徹底とのことだが町役場の仕事に加えては手が回らないのでは。すべてを役場の責任として抱え込まず、自治会を支援しつつ任せてはいいかがか。

⇒（町長）

ごみ捨て場に出されたごみを仕分けしてくれる人もいる。善意の行動だが年齢のこともあり続けていくのは難しいという。そういうところは行政として甘えすぎではいけないと思う。

- ごみの問題は以前からの課題。アパートのごみが増えてボックスを増やしてもらったり、道路脇の投げ捨てごみなどもある。自治会としても呼びかけているが、どうしてもできないことは町にお願いしたい。

- 自治会としてもやり、できないことは町にお願いするのはよい。最初からすべて町のやることとしてしまうべきではない。

- 今日は清掃の日だったが32世帯中26世帯が参加しみんなできれいにすることができた。道路のポイ捨てなどもそうだがルールを守らない人もいる。まちをきれいにするためには、花を植えるよりごみをなくすことが大事。

⇒（町長）

ルールを守らない人というのは、ずっと住んでいる方のことではなく短期の居住者が多いのではないか。そうした短期居住の方の意識をどう変えるかが問題。車からのポイ捨てについてはまた別の問題であり、町としてどうしていくか考えていきたい。

- そこは「自治会にぜひ任せます」と言うべき。

⇒（町長）

行政は最後の砦であると思う。町と自治会はどちらが上とか下とかではなく同等であり、役割分担をしながらよりよりまちづくりを進めていきたい。

- 自治会として機能すべきことがある。城山地区では昔から子ども会や祭りなどをみんなでやってきた。そうした役割が防災やごみ対策などでも機能してくるのではないか。

⇒（町長）

城山地区はソフトボールなども子どもから高齢者までみんなで参加している。他地区ではここまでいかない。新しい人も入ってくるが、その人を周りがしっかりとフォローしているところも素晴らしい。こうした好事例を他の自治会にも伝えていきたい。

●防災について、リーダーとして頑張っている人が最近やる気をなくしている。しかし、いつ来かわからない災害に備えることが大切で、細々でもよいから続けて欲しいと声を掛けた。自治会のみなさんも気を掛けてほしい。また、ドローンの導入はぜひ進めて欲しい。日頃は遊びなどで使いながら、いざという時に活用できればと思う。

⇒（町長）

ドローンについて町で1台保有しているほか、協定先のコヤワタオフィスには企業用ドローンもある。操縦の講習なども行っており、自治会でも手を挙げてくれるところにはぜひ活用してもらいたい。

●ドローンについて、災害対策に限定せず空撮など自由度を持たせてほしい。

●町保有のドローンの使用目的は何か。

⇒（町長）

主に観光用に活用している。イベントや観光地を空撮し動画を挙げている。

★防災について

⇒（町長）

防災についての意識向上について、各自で避難準備を行ってもらいつつ、足りないものは自治会で備えることとなるが、自治会側では管理や備品の更新などの手間も必要となる。自治会によって求められる備品も違う。このため、「災害時はどういう状況で何が必要になるか」を意識して準備してもらおうよう、広報などを考えている。9月4日の防災訓練でも確認したい。また、毎月11日に行っている防災無線の動作確認は自治会長さんにご存じだと思うが、他の人たちも防災を意識する日としていくなどしていきたい。

●先ほどの河川敷の施設設置についてももう少し詳しく教えて欲しい。

⇒（高橋参事）

堤防から河川側には建物を作れない。川の流れを変えてしまう恐れがあるため法律で規制されている。このため、堤防から陸側の民有地にトイレ等の施設を検討する。

★山北町方面への道路整備について

⇒（高橋参事）

今後、道路の整備計画について近隣の住民に向けた説明会を実施したい。開催については改めて連絡する。

閉会